

水俣・芦北地域戦略プラットフォーム 第14回課題検討会のお知らせ

今回のテーマ

自然産業に つながる人々

—水俣・芦北地域の流通と経済—



これからの水俣・芦北地域のあり方を展望する「プラットフォーム」課題検討会。

今回のゲストは、水俣の洋菓子店「モンブランフジヤ」の笹原和明さんです。

鬼塚さんのデコポン、松本さんのお茶、頭石の水など、モンブランフジヤの美味しいお菓子は、水俣の「自然産業」にしっかりとつながっています。「『田舎の洋菓子店』には『田舎の洋菓子店』のできることもある」とおっしゃる笹原さん。今回の課題検討会では、お菓子を通して、水俣・芦北地域の流通と経済を考えます。

* 第7～12回の課題検討会では「自然産業」をテーマに議論を重ねました。今回から、その先の展開として、水俣・芦北地域での流通と経済について「自然産業」を軸に考えるシリーズを始めます。

話題提供 **笹原和明さん**（洋菓子店 モンブランフジヤ）

日時 **2009年7月6日（月） 19:00～21:00**

場所 **熊本学園大学水俣学現地研究センター**

水俣市浜町2-7-13(水俣市公民館裏、婦人会館向かい)

TEL・FAX 0966-63-5030

会終了後に懇親会を予定しております。ぜひご参加ください

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」世話人会・事務局
熊本学園大学水俣学研究センター 藤本延啓

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」とは

「負の遺産」としての水俣病事件をベースに、人間としての生き方、日々の暮らし、地域社会(教育、環境、福祉、経済、政治など)のあり様を問い直そうとする市民、NPO、研究者、民間事業者、行政職員など多様な関係者の“出会いの場、学習の場、討議の場”であり、また、“新たな価値(生活文化)を創造する「場」として位置づけられた舞台(プラットフォーム)です。